

# Hello! FUJISEI

No.200

厚生労働省が発表した「平成24年度地域保健・健康増進事業報告の概況」によると、平成24度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」9.0%、「肺がん」17.3%、「大腸がん」18.7%、「子宮がん」23.5%、「乳がん」17.4%となっています。また、市区町村が実施したがん検診における要精密検査者のうち、「がんであった者数のがん検診受診者数に対する割合」は「胃がん」0.16%、「肺がん」0.06%、「大腸がん」0.22%、「子宮がん」0.08%、「乳がん」0.32%でした。

市区町村のがん検診受診率の分布をみると、受診率が「50%以上」と高い市区町村数は「肺がん」が156（全国市区町村数に占める割合9.0%）と最も高く、次いで「子宮がん」78（同4.5%）となっています。一方、受診率が0～10%未満と低い市区町村数は、「胃がん」が708（同40.7%）と最も多く、次いで「乳がん」444（同25.5%）となっています。

がんは、昭和56年から死因トップを続けています。平成25年の速報値では、がんによる死亡者数は36.5万人で、33年連続の第1位となっています。しかし、診断および治療技術の進歩により、一部のがんでは早期

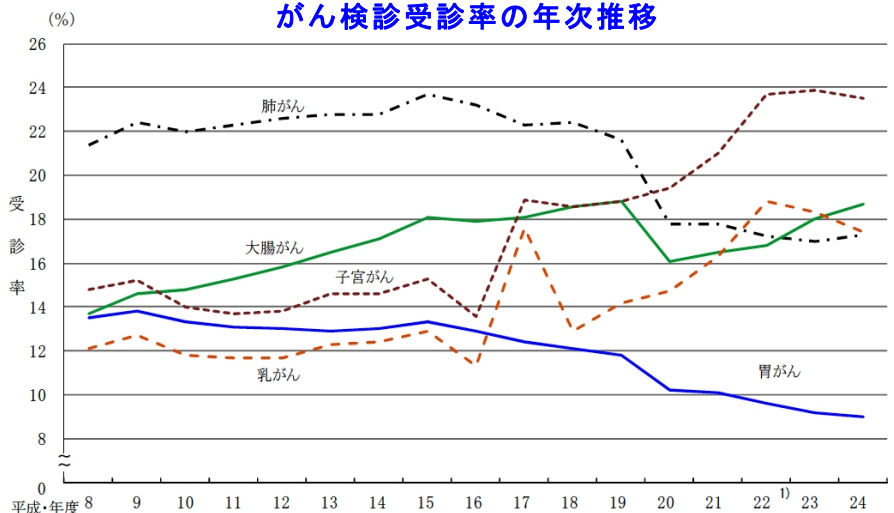
## がん検診

# 早期の発見・治療で死亡のリスクを軽減

発見、そして早期治療が可能となってきました。がんの死亡率を減少させることができる確実な方法として挙げられるのが「がん検診」です。

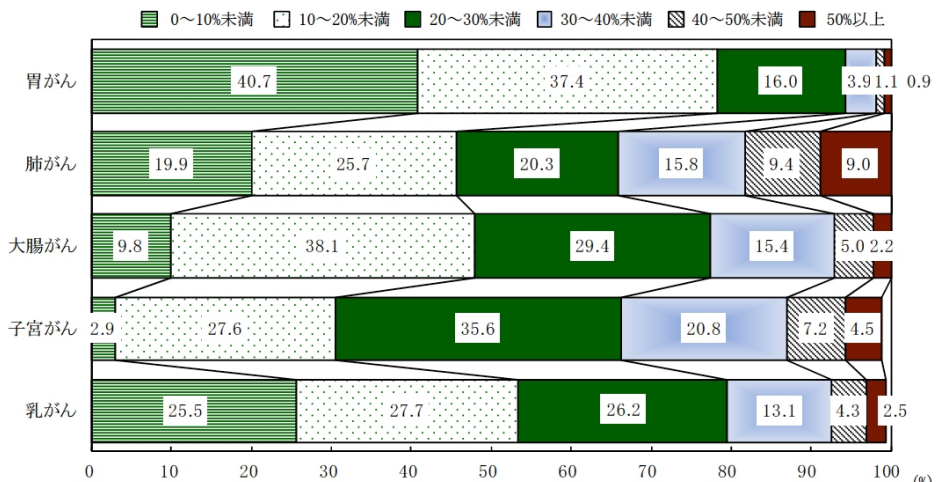
無症状のうちに「がん」を早期に発見し治療することが大切です。がんによる死亡のリスクを軽減することができるからです。

がん検診受診率の年次推移



- (注) 1. 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。  
2. 受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値。

市区町村におけるがん検診受診率の分布状況



厚生労働省「平成24年度地域保健・健康増進事業報告の概況」